



自信と誇りを高めて
神戸市老人クラブ連合会 (KOBEシニアクラブ)
理事長 近藤 豊宣

新年あけましておめでとうござい
ます。会員の皆様方には、健やかに
新年をお迎えのこととお喜び申し上
げます。

平素は、神戸市老人クラブ連合会
諸事業に対し、格別のご理解とご協
力・ご支援をいただいておりますこと、
厚くお礼申し上げます。

今後の高齢化社会の進展を考えた
とき、私たち老人クラブは、地域社
会の主人公として、「健康・友愛・
奉仕」の理念の基、会員としての自
信と誇りを高め、豊かな老後を通じ
ため、健康に留意しながら生きが

いづくり、そして、これまでの知識
や経験を活かし、諸団体と連携を深
めながら様々な地域貢献活動に取り
組んでいくことが私たちの課題とな
ります。

ただ、現状を考えたとき、新規加
入者の減少が組織の高齢化を進め、
また、老人クラブ運営を担う人材の
後継者不足等が背景となっておりま
す。

市老連では、人と人との絆を育み、
学び合う場の必要性に鑑み、昨年11
月、後継者育成のための「KOBE
シニア希望塾」を開設いたしました。

受講生の皆さんには、2年間にわた
り毎月1回のペースで24回の講座を
通じて、神戸の歴史・福祉・産業な
ど広く教養を深め、また老人クラブ
や他の団体等の先進的活動について
学び、次世代を担うリーダーとして
の資質を磨いていただくことを目的
としています。

激しく変化する時代を迎え、次期
老人クラブの後継者として、当面す
る課題の解決力や柔軟な対応力にあ
る人材として、活躍していただくこ
とに大きな期待を寄せています。

本年も会員の皆様方には、市老連
事業へのご支援とご協力をお願いい
たしますとともに、皆様のご健勝と
ご多幸を心より祈念申し上げます。
ご挨拶いたします。



新年に寄せて
神戸市長 久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹ん
でご挨拶を申し上げます。

昨秋の市長選挙におきまして、
市民のみなさんからご信任を賜り、
引き続き4期目の市政を担わせて
いただくこととなりました。私は
市長就任以来、常に「公正で折り
目正しい行政」を貫き、あるべき
自治体の姿を追い求めてきました。
これからも初心を忘れることなく、
市民のみなさんからの期待にお応
えできるよう、全力を尽くしてい
く所存です。スピード感をもって
先駆的な施策を展開し、次の時代
に誇ることができる神戸を築いて
いきます。

りつつあります。都心三宮、ウオー
ターフロントでは新たな賑わいと
美しい風景が生まれ、郊外では拠
点駅を核に、まちが新たな表情を
見せ始めています。神戸空港の国
際化を契機に、神戸は新たな国際
都市としての可能性を手にするこ
とができました。こうしたまちの
成長を市民一人ひとりの暮らしの
豊かさへと着実につなげていくこ
とが必要です。目先の人口増を追
い求めるのではなく、将来の世代
に対して、責任を持って引き継ぐ
ことができる持続可能なまちづく
りを進めます。

都市の繁栄は災害に強い、強靱
な基盤があって初めて成り立ちま
す。災害や感染症などあらゆる危
機から市民を守る安全・安心なま
ちづくりに引き続き取り組むこと
も、子育て支援のさらなる充実、
教育環境の整備、地域医療や福祉
の強化など、すべての世代がいき
いきと暮らせる「人間らしいあた
たかいまちづくり」に注力します。

神戸は自然と暮らしが調和する
まちです。森林や里山の再生やま
ちの緑化に向けた取り組みや再生
可能エネルギーの活用など、自然
と共生するまちづくりを進めてい
きます。

これらを実現するためには、市
民のみなさんの参画が不可欠です。
対話を重ね、学生や企業・地域団
体などの多様な主体による地域協
力を一層推進していきます。

末筆ではありますが、本年がK
OBEシニアクラブのみなさんにと
つて、すばらしい一年となりま
すことをお祈りいたします。

「KOBEシニア希望塾」が開講!



次世代の老人ク
ラブリーダーの
養成を目的とし
た「KOBEシニア
希望塾」を11月
17日(月)に開
講しました。受講
者32名のほか、

理事・監事等役員や一般会員など総勢85名が出席しました。

市老連近藤豊宣理事長の挨拶に続き、ご来賓の紹介。その後、神戸市福祉局八乙女悦範局長より、「社会の変化と老人クラブ」と題した基調講演が行われました。

休憩後のオリエンテーションでは、久保三男副理事長から受講者への激励のメッセージがありました。

希望塾では、一般会員の皆さんにも参加いただける公開講座を設けています。3月の公開講座の詳細は、KOBEシニアクラブのHPに掲載しますので、お楽しみに。



第54回全国老人クラブ大会



第54回全国老人クラブ大会が、令和7年11月5日(水)～6日(木)茨城県の水戸市民会館グロービスホール(大ホール)で開催され、全国各地から1,247名の老人クラブ会員等が参加しました。

KOBEシニアクラブ(神戸市老人クラブ連合会)から近藤豊宣理事長をはじめ、各老連の代表や今回表彰を受ける皆さんが参加し、式典では、全国で206名、108団体が表彰され、代表者が村木厚子全老連会長から賞状を授与されました。

【全国老人クラブ連合会会長表彰】(順不同、敬称略)

育成功労表彰
森松リキ子
(神戸市老人クラブ連合会副理事長)

若手リーダー育成功労表彰
池田しづ子(須磨シニアクラブ連合会副会長)

女性リーダー育成功労表彰
上嶋初子(西区老連副会長)

優良老人クラブ表彰
東灘区魚崎南8親睦会(会長 中村陽洋)
兵庫区湊山すまいる会(会長 山口喜久男)

区老連だより

垂水区老連

第50回「楽しいつどい」を開催!

垂水区老人クラブ連合会主催の第50回「楽しいつどい」は令和7年9月20日(土)垂水区文化センター「レバンテホール」に於いて、垂水区役所後援のもと兵庫県神戸県民センター助成事業として、第1部「第50回記念式典」、

第2部「演芸発表会」を開催しました。

第1部では区老連松木会長より区老連活動への理解および第50回「楽しいつどい」を開催出来たことに対し、各界関係者への感謝の意を表明。次に来賓挨拶では垂水区若



会長あいさつ

松区長から区老連の永年の活動を称え、区の重点課題、特殊詐欺防止、空き家対策、国勢調査などに触れながら祝辞挨拶がありました。

続いて兵庫県神戸県民センター内藤センター長から、敬老の日の発祥が

兵庫県からだったという興味深い話があり、白寿、百寿のさらなる長生きで、茶寿108歳、皇寿111歳、大還暦120歳などを紹介されました。最後に市老連毛利事務局長が老人クラブの減少について報告され、増やす取り組みについて言及されました。

第2部「演芸発表会」では、合計18クラブによる演芸が披露され、ダンスあり手品ありで、昨年の開催から練習を重ねた成果を発表する158名の出演者と、応援のため駆け

付けた会員の方々の熱気で盛り上がりました。第2部の最後には、垂水区舞子坂出身のプロの歌手、松原美穂さんの歌謡ショーがあり、会場の会員とのデュエットや客席での握手会等で盛り上がりフィナーレ。延べ480名近くの会員が参加した第50回「楽しいつどい」が大成功裏に終了しました。



松原美穂さん

市老連の大会に繋がるように期待したいです。

また、地域社会が人口減少、高齢化の中、何よりシニア世代の生き甲斐ある居場所が重要です。熱心に健康友愛奉仕の地域貢献となる日常活動を進めつつも、会員減少の傾向は、灘区老連40周年時4,240名、50周年時3,871名と止まりません。

「KOBESHINIA希望塾」に期待 創立63年目飛躍の千年へ

灘区老連



灘区老連の仲間たち

灘区老連は昭和38年8月に創立、今年で63年!第11代目の温厚な小谷会長を中心に42クラブ、2,719名の会員が多彩な活動に参加しています。灘区老連ではコロナ禍の後も王子競技場や区民センターの大改造などで、グラウンドゴルフ大会は区役所の幹旋で六甲小学校の運動場で縮小して開催、演芸の集いはやっと令和8年11月に再開することになりました。

スポーツ事業では、グラウンドゴルフと輪投げの大会はほとんどのクラブからの参加があり、いつも大盛会です。また、新たに誰でもできるポッチャヤモルックが登場しています。老人クラブ伝統のゲ



KOBESHINIA希望塾

ートボール大会は愛好者が減り、市老連主催の大会も危ぶまれています。誰でも簡単にできることも新たな会員には必要ですが、日々熱心に練習に励んでいる灘区の4チームに加え、技量・作戦・チームワークで進行するゲートボールの醍醐味を知る仲間を少しずつ増やし、単位クラブの活動をステップに

このたび市老連が本腰を入れて企画した「KOBESHINIA希望塾」に灘区老連は4クラブ7名を推薦しました。令和7年11月17日(月)その7名は区役所での会長会議に参加し、小谷会長から紹介と激励を受け、午後の開講式に出

須磨区老連 コスモスの丘散策、最多来場者の演芸大会

須磨シニアクラブ恒例の「秋季ハイキングコスモスの丘散策」は、本年度から女性委員会の世話により令和7年10月11日(土)に実施した。

各クラブ会員が総合運動公園前の広場に笑顔で集合し、冒頭、高見会長が「須磨区の花・コスモスの咲き具合は昨年に比べて良さそうです。安全を第一にして、ハイキングを大いに楽しんでください」と挨拶。次にこの日参加の11クラブ119名全員の集合写真を撮った。

このあと広場をスタートし、運動公園案内所を経て、ユニバー競技場南のユニバー坂を登りきって「コスモスの丘」に到着。その南斜面に4,000㎡のコスモス畑が広がる。咲き誇るコスモスを指さして「きれいに咲いている」などと言いつつ、ゆつくりとコスモス畑を降りていく。ゴールの水の上ステージでは空くじ

また、10月19日(日)には須磨区文化センター4階大ホールで「演芸大会」を開催した。遊遊クラブのコーラスを皮切りに、東須磨永寿会のコーラス、菅の台ひいらぎ会の新舞踊、白川台むつみ会の民謡、須磨百寿会のハンドベルと歌、東落合シルバークラブのカラオケ、東白川台ホワイトクラブの民謡、赤松優バレエ学園、横尾シニアクラブのフラダンスの順に出演、最後は神戸市立須磨翔風高等学校の若さあふれる吹奏楽演奏。とりわけかわい子どもたちのバレエと須磨翔風高等学校の演奏には割れんばかりの拍手となり、会場のボルテージも最高潮に達した。



コスモス畑を降りて行く



赤松優バレエ学園

いずれ劣らぬ熱演のあとはお楽しみ抽選会で、またまた会場は大盛り上がり。来場者は347名と、かつてないたくさんの方々にお越しいただいた。

クラブだより

健康づくり指定クラブ事業として 親睦輪投げ大会を開催

兵庫区

五宮喜楽会

岸本 中

令和7年6月1日(日)五宮町公園に於いて開催しました。天候に恵まれ新緑のまぶしいなか、五宮喜楽会と梅元町喜楽会の会員に加え、区老連栗野会長、大崎副会長、高

橋理事に参加していただき、総勢57名の参加となりました。

「いきいきクラブ体操」

で体をほぐし、栗野会長から「体調に気をつけて無理せずに楽しんでほしい」との挨拶がありました。公園内に3台の輪投げ台を設置し、各自3ゲームとしました。今回の



いきいきクラブ体操

ルールは高得点を得られるように、女性は2m男性は3mとし、楽しさを主眼におき実施しました。約1時間40分程度ですが、公園内にはベンチがなく立ったままでの観戦はつらいため、全員のベ

ンチを準備するのに苦労しました。椅子を準備したり、前日から組み立てリヤカーを駆使して、神田町公園より3人用ベンチを6台借用しました。得点集計係の瀬良さん、並木さんには大変ご苦労をおかけし、本当に感謝しかありません。今回はいつもより豪華な賞品も準備でき、輪の行方に一喜一憂して大盛況な親睦輪投げ大会となりました。また、輪投げに参加できなかった方でも新緑の公園まで出て来て親睦の輪の中に入っていたらいいこと、そして皆で助け合



親睦輪投げ大会

って競技ができたことを、今後には生かしたいと思えます。

最後に五宮喜楽会岸本会長より閉会の挨拶があり「これからの厳しい夏をのりこえよう」との言葉で終了しました。

公園・グラウンド整備に汗

長田区

さわやかクラブ

藤竹 一夫

さわやかクラブは現在、会員37名、平均年齢86歳ですが若い方が1名います。婦人会の役員もされており、よく相談にも乗ってくれます。

そんな中、クラブにとって嬉しいことがあります。それは長楽公園やグラウンドゴルフ(GG)や輪投げを楽しんでいます。公園には日よけやベンチもありません。ベンチは憩いの場で、お茶を飲み雑談し、老後の話に行きつきます。

回木曜日はGGも輪投げもなく病院に行く日となっています。今年の夏は暑い日が続き9月の中旬までGGと輪投げは休みました。再開すると公園には雑草が多く、中には腰に達するものもありました。公園はどこも同じだと思います。草が広範囲に生えます。手では抜けません。雨降り待ってやっとなれませす。草を抜いた後は穴ぼこだらけでした。多くの方に参加してもらい草取りも楽しくできたのですが、4〜5日腰が痛かったです。

私たちの地域から須磨海岸までは散歩コースとなっています。買い物は近くに大正筋があり、高齢者と外国人の街です。地域の方にクラブ加入をお勧めするのですが、「家でテレビを見ている方が気も遣わず、人と話をするのが面倒だ」と言われます。家の中の空気よりも外の空気を一度吸ってみてはいかがかと思えます。公園の陽だまりは高齢者にとってこれからはいい場所ですよ。

桜咲き酒香る武道の町御影

東灘区

上御影若菜会

谷路 弘美



大下夫妻

上御影若菜会の活動をご紹介します。

令和7年5月19日(月)上御影会館にて第53回定期総会を出席者47名で開催しました。

令和7年度の事業活動方針、事業計画案及び収支予算案が、原案通り全会一致で承認されました。第2部では、大下夫妻のピアノとバイオリンの演奏。「愛の挨拶」「おさるのかごや」など懐かしい歌曲がピアノで弾かれ、バイオリンで奏でら



上御影若菜会

れました。「ツゴイネルワイゼン」の哀愁と情熱、技巧に心を満たさ

れ、総会は盛大に笑顔のもと閉会しました。

敬老御祝会を9月8日(月)参加者49名で開催しました。ボランティアセンターに紹介をいただきましたオカリーナ「アマカ」さんの出演、女性5名がミヤクミヤク姿で颯爽と登場です。懐かしい昔を思い出す数曲をオカリーナの伴奏で一同唄い、楽しい刻を過ごしました。

その他、12月はクリスマス会。誕生月御祝会を年4回。若菜会・笑和会合同コーラス。花壇植替



オカリーナ「アマカ」

手入れ年2回など。

また、区老連旅行に参加するなど日々親睦交流を深めながら楽しく活動をしています。



グラウンド整備に汗をながす

文芸欄



俳句

紅梅会 (東灘区)

ひまわりの熱気に負けし歩の重み
六甲の新凜の風心地よき
立秋や空見上げ小ば月朋け
過ぎし日庭に停む花芙蓉
垣根越へ花芙蓉の日の高さ
宇宙への挑戦やまず月の夜
石山の光芒と萩筆の路
荷物整理母の秋の句胸をうつ
日を抱きて花の光りて風の波

光子 里子 扶喜子 比佐美 松子 早智子 朋子 美恵子 恵

宝愛くらぶ (中央区)

秋暑しロシア進攻早や三年
またもやか水禍の地向け祈るなり
初秋やほつと一息紅茶飲む
初秋を夫に寄り添ひ散策す
味深しのどごしツルリ新豆腐
新豆腐猪口は馴染よ杯重ね
天に抜け波を叩くやボラの群れ

和子 悦子 千枝子 道子 静 和志

梅の美会 (兵庫区)

群をなし指立てて見る赤とんぼ
どこからかくしゃみの音する秋花粉
丹波路の刈田をわたる風の音
冬めきて何やら怪しい夜の膳

藤井歌子 山田朝子 栗野富江 藤田ユイ子

高原ささゆり会 (北区)

去年今年新幹線の早さかな
ささやくは斜面うずめる草もみじ

笠井照子 尾崎順子

高原ささゆり会 (北区)

群青の空に輝く名月の金木犀の香りを添えて

開聞の朝焼けに消ゆ特攻の生きて帰れの願いよ届け

潮風や来たよ万博故郷の香リング登れば気分はヤッホー

影ばかり大きくなりて我を呑むヤッテランナイヨってやりによ

桃山台クラブ文芸部 (垂水区)

秋陽照る畦に群れ生い赤赤と燃ゆるがごとく彼岸花咲く

女孫二人万博至りて暑きに待つも入館たのしむ写真次々

佐藤伸二郎 佐藤かなめ 南久美子 中井裕子 堀江千生子 柴山希美子

凍えたる頬手足指目に朝陽
平穏な日々こそ来たれ松飾
山小屋の朝あたらしき雪を踏み
肩すぼめ深く湯に入る寒の月
金木犀落花の下で眠りたし

佐藤伸二郎 若林節子 松村二三枝 南久美子 中井裕子

ひまわり句会 (北区)

米作り午後も午後も汗のシャツ
秋野菜孫と植えたのよくなった

辻寿賀子 石井敏子

ひよどり台句会 (北区)

体調は一進一退残暑かな
暑さ耐え老い行く日々回復待つ
山に来て野原一面キスグ咲く
ぬけがらの服吊るされたり秋の夜
調査票配る細道萩乱る

矢谷登美子 塩見光子 田中弘子 筒井豊子 中井光子

北斗句会 (北区)

後戻り出来ぬ人生空き遍路
連れ添いて米寿傘寿よ菊の酒
松島や人住む島の秋灯
義民の碑永久に寄り添ふ彼岸花
曼珠沙華まだ燃えるもの躬の内に
曼珠沙華軌道の跡を埋めにけり
月白や戦ぐこの世の暗さかな
幼きひ近寄り難き彼岸花

岸下正二 久松礼子 増田嗣夫 秋山弘之 松本洋子 坂本宏信 金行隆 山崎美雪

見山台新樹会 (北区)

知らぬ間に狭庭一面萩の花
自転車投げ捨て児等の夏休み
秋暑し黄色の傘を旅の荷に
窓辺来て鳴き尽したる法師蟬
畑仕事終わりに美味むかご飯
峯の雲流れ水無月梅雨あけて

丸尾嘉子 高石勝行 貞永弘子 松隈弘子 石本宏一 佐溝満喜子

五色山健寿会 (垂水区)

またと云ふ日の無きことや曼珠沙華
月白や天心仰ぐ舞子浜
女子会のさざめきやみて青蜜柑
ひよどりの叔母の墓参へ地図を手に
秋風が戸に連れ出すやゴッホ展
眼裏に金色敷きて麦を蒔く
老いの指若き酢桶を搾りきる

智子 眞みこ 波音 くに子 多美子 穂花 淡峡

桃山台クラブ文芸部 (垂水区)

芒原盗つ人萩の裾や肘
夕映えに色づく柿や目に優し

田畑美恵子 大上昭敏

川柳

深江親交クラブ (東灘区)
雨上がり危険な道路車椅子
年賀状ほんとは少くなく我が友よ
今出来ぬ落葉焼き芋懐かしい
クーラーと共に過した永い夏
目の前にあるのに探す爪切りを
秋の虫泣く間もなく冬が来た
謎だらけ地球はボール宙に浮く
いらっしやい孫を迎えて消える栄一
恋文を束ねりポンを蝶結び

林芳一 増田芳之 森和子 津田正江 三島茂子 村瀬武子 東方輝子 清水育子 小田節子

桂木ひふみ会 (北区)

老いは難儀生きる重さを考える
時は今鏡を脱いで素に戻る
当選で特等当り米五キロ
朝っぱらから頭重いよアリナミン
積み重ね日々の研究賞となる

京念久美子 元永宣子 杉尾悦子 荒木宗久 笹岡淑子

個人

初時雨衣替える季節もなく冷気に戸惑う朝のバス停

姉百寿ひ孫五ヶ月それぞれの手を振るライン嬉し秋の日

この家の人も免許を返納されたらし空っぽの車庫に猫と花鉢

おはようと夫の遺影に呟いて今日も始まる一人の暮らし

大好きな貴方にそっと届きたいミモザの花とあふれる思いを

二泊してあと一時間で帰途につく胸のどこかに痛みが走る

初時雨衣替える季節もなく冷気に戸惑う朝のバス停 (灘) 上田節子
姉百寿ひ孫五ヶ月それぞれの手を振るライン嬉し秋の日 (兵) 大賀清子
この家の人も免許を返納されたらし空っぽの車庫に猫と花鉢 (北) 乾外志
おはようと夫の遺影に呟いて今日も始まる一人の暮らし (須) 江口啓子
大好きな貴方にそっと届きたいミモザの花とあふれる思いを (須) 蔭山宮子
二泊してあと一時間で帰途につく胸のどこかに痛みが走る (西) 増田當代

筑栄会 (北区)

決まらない回るお寿司のネタ選び
選挙やめなつかしき友にもどる君
マンション高騰タワマン選ぶ富裕層
選ばれるその裏側は悲しみが
レジの列短め選ぶが超遅い!
ダンサーの何故かドレスに弱い俺
うまい酒元気が印がそろう席
老いたかなついでいけなせ世の進化
課題に「暇」とつさの出任せ後悔しきり

かをる 波音 三茶 なな 波音 菜々

個人

人生にまさかあり真面目に歩む
賞味期限少し延ばして老い二人
名医でも先は見えない恋病
人相が悪いが犬はよく見分け

(北) 北野利一 (須) 久山節子 (垂) 小高肇 (西) 藤原健二

神戸市シルバーカレッジ 学生募集

57歳以上の市民が学び集う生涯学習施設です。令和8年度(2026)年4月入学生を募集します。



出願期間：令和8年1月19日(月)～30日(金)(必着)
学生募集要項(願書)はシルバーカレッジ、区役所などでお配りしています。郵送も可能です。学校説明会を1月20日(火)・21日(水)・22日(木)に開催します。
各日2回①10:00～12:00 ②13:00～15:00(事前申込制)

Table with columns for Course, Health/Life, International Exchange, ECC, and Comprehensive Arts, with student counts.

<申し込み・お問合せ先>
シルバーカレッジ事務局 電話078-743-8100
神戸市北区しあわせの村1番16号
詳細は https://kobe-sc.org 右記QRコードにアクセス



シルバーカレッジ で 検索!

あしがき

明けましておめでとうございませう。
2026年がはじまりましたが、いかがお過ごしでしょうか。本年も神戸市老人クラブ連合会はたくさんの方の行事を開催し、皆様が笑顔で過ごせるような一年にしていきたいと考えています。
本年もどうぞよろしくお願いたします。